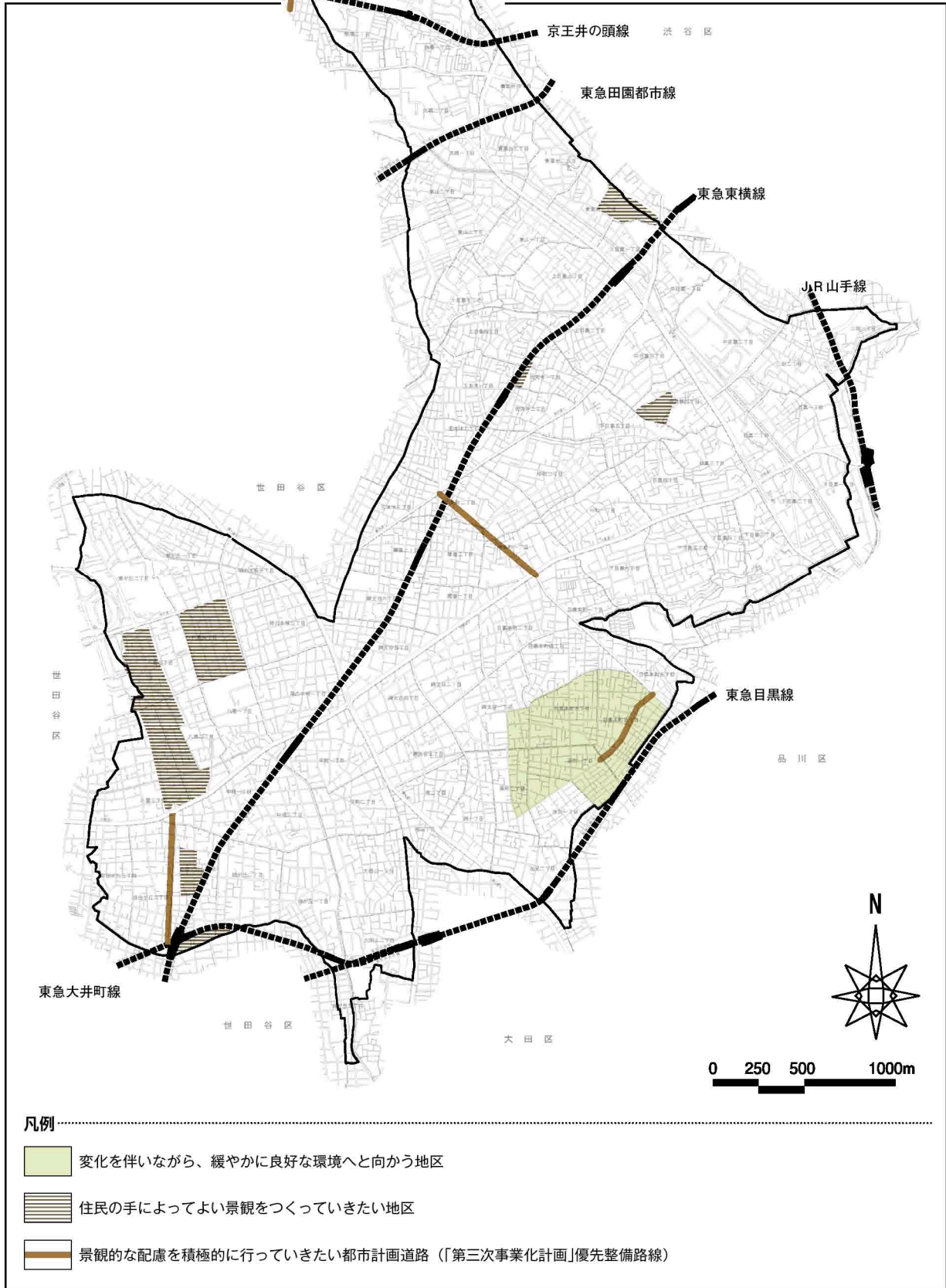


■ 図I-5 街並みの変化課題図



5. 「特性と課題の抽出」のまとめ

(1) 自然

ア. 地形

目黒区は、高低差は大きくありませんが、緩急に富んだ地形が特色となっています。そのため、景観形成においても、地形に沿った建築など地形を活かすことが求められています。

イ. みどり

樹木といった点的なみどり、緑道のような線的なみどり、公園などのまとまった面的なみどりとあるいは敷地内のみどりがまとまって面的なみどりをつくり出している住宅地など多様なみどりがあります。

これらのみどりを保全し、新たに創出することにより、みどりのつながりや面的な広がりをも更に生み出していくことが求められています。

(2) 歴史

目黒区には、街道、坂道、寺社、庚申塔等さまざまな歴史的資源があり、目黒区の歴史を感じさせています。これらの歴史的資源を活用しながら、良好な景観を形成することが求められています。

(3) 生活空間

ア. 街区

地形や面整備の有無などにより、区内の市街地の街区形状には、差異があり、市街地の景観も異なっています。

街区形状の差異に着目して、市街地の景観形成を図っていくことが求められています。

イ. 道路

幹線道路沿道のほか、生活道路沿道の景観整備も重要と考えられます。道路毎の特性や沿道の資源を踏まえた沿道景観の形成が求められます。

ウ. 近隣空間

近隣の商店街の個性的な景観形成、身近な公共・公益事業施設の修景や景観整備、駅周辺の総合的な景観形成、住宅地の中の駐車場の修景が求められています。

また、景観を形成する要素としてストリートファニチャー等の使いやすさ、美しさの向上などが求められています。

(4) 街並みの変化

近年目黒区においては、開発や建替え、道路等の公共施設の整備が進み、街並みが変わっています。また将来的にもこの傾向は続くと考えられます。そのため、これらの動きを捉えて、良好な景観形成を誘導することが求められています。